

一步前へ

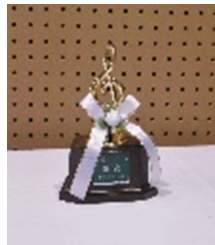
鴨島東中学校第2学年通信

令和5年12月22日発行

合唱コンクール皆さんの感想より

12月9日合唱コンクールがありました。毎日練習を重ね、本番ではさらに美しいハーモニーを聴かせてくれました。

- ・自分の中では、2年1組が金賞だと思ったのでちょっと納得できないです。でも今まで心を一つにして頑張ってきたことはとてもよい思い出になりました。緊張したけど、いままで一番心のこもった歌声でした。
- ・合唱コンクールは楽しかったです。銅賞でちょっと残念だったけどほかの学年の人に「2年1組うまいな」と言われたのでとてもうれしかったです。来年は今年の3年を超える歌声をみんなに届けます。
- ・僕は前合唱コンクールに出れなかったのがとてもうれしかったです。3年生にもう1度あるので、その時は表彰されるように頑張りたいです。
- ・最初、ほかのクラスの歌声に圧倒されてすごく緊張しました。しかし、いつもより頑張っって大きな声を出すことができました。3年生の合唱を聴いて迫力に驚きました。来年は3年生のような合唱ができるように声を出していきたいです。
- ・初めて指揮をしたときは、手を振るスピードや最後の伸ばすところが出来なかったです。しかし、練習しているうちに慣れてきて、本番では伸ばすところもできるようになりました。来年も頑張りたいです。
- ・私は本番が一番よい合唱ができたと思います。朝の練習の時、声が出なくて焦って緊張していたけれど、本番では一番大きな声が出ました。今日の合唱コンクールはとても楽しかったです。



12月13日（水）に徳山富子先生を講師にお招きして、性の多様性について講演をいただきました。鴨島東中学校の先輩からのメッセージから「『ラーメンが好きか』と言えば『ああ、そう』と受け止めてくれる。それくらいの気持ちでトランスジェンダーであるということも受け止めてほしい。」という言葉を見ました。想像力を働かせて、相手の立場に立って考えることの大切さを学びました。偏見や差別のない相手も自分も生きやすい社会にするために自分は何ができるか考える機会となりました。

感想より

- ・これからの自分にできることは、自分の「普通」を他人に押し付けないことです。トランスジェンダーの人への差別で苦しんでいる人がいたら、寄り添う行動をしていきたいです。
- ・もし、友達から、トランスジェンダーであることをカミングアウトされたら、信じてくれた相手のことを考えて、アウティング（勝手にほかの人に秘密を暴露すること）をせずに、偏見を持たずに接していきたいです。
- ・性に関して、みんながみんな同じでなく、一人ひとり違うことを知ることができました。この講演会でお話を聞いて、たくさんのことを知ることができ、とてもよかったです。
- ・悩んでいる人が周りにいて、相談を受けたら、相手に寄り添い話を聞きたいです。その人が前向きに生きられるように、自分のできることを考えていきたいです。
- ・お話を聞いて、ありのままの自分を出すことは怖いことではないということがわかりました。誰かが僕にカミングアウトしてくれたら、寄り添いたいです。また、受け入れてもらったら、とてもうれしいし相手のことを大切にしようと思いました。
- ・公立の高校入学願書の性別欄が廃止されたことをしりました。私も英検を受ける際に性別を書く欄があり「こういうのなくなったらいいのに。」と思っていたので、こういう取り組みが進んでいけばよいのと思いました。
- ・LGBTの人が、もし周りにいたらどのような接し方がよいのか、よくわかりませんでした。しかし、この講演を聴いて、「他の友達にするのと同じ接し方でいいのだ」と思いました。知ることで偏見もなくなり嫌な思いをする人が減ると思いました。



2学期の終わりに



長い2学期が終わろうとしています。東中祭、職場体験学習、合唱コンクールなどたくさんの行事を共にがんばり、行事ごとに成長していく姿を見せてくれました。本当によくがんばりましたね。合唱コンクールで堂々と歌うみなさんの姿を見て誇らしく思いました。12月には、「2分前着席」「授業準備をして休み時間にしよう」という生活目標をもって、取り組みました。達成したときは、ビー玉をクラスの瓶にためていきました。意識して生活し、たくさんのビー玉を集めることができました。今では当たり前のように誰かが声かけをして2分前には着席をして、落ち着いて授業を始められています。もちろん準備もきちんとできています。ぜひ続けていきましょ